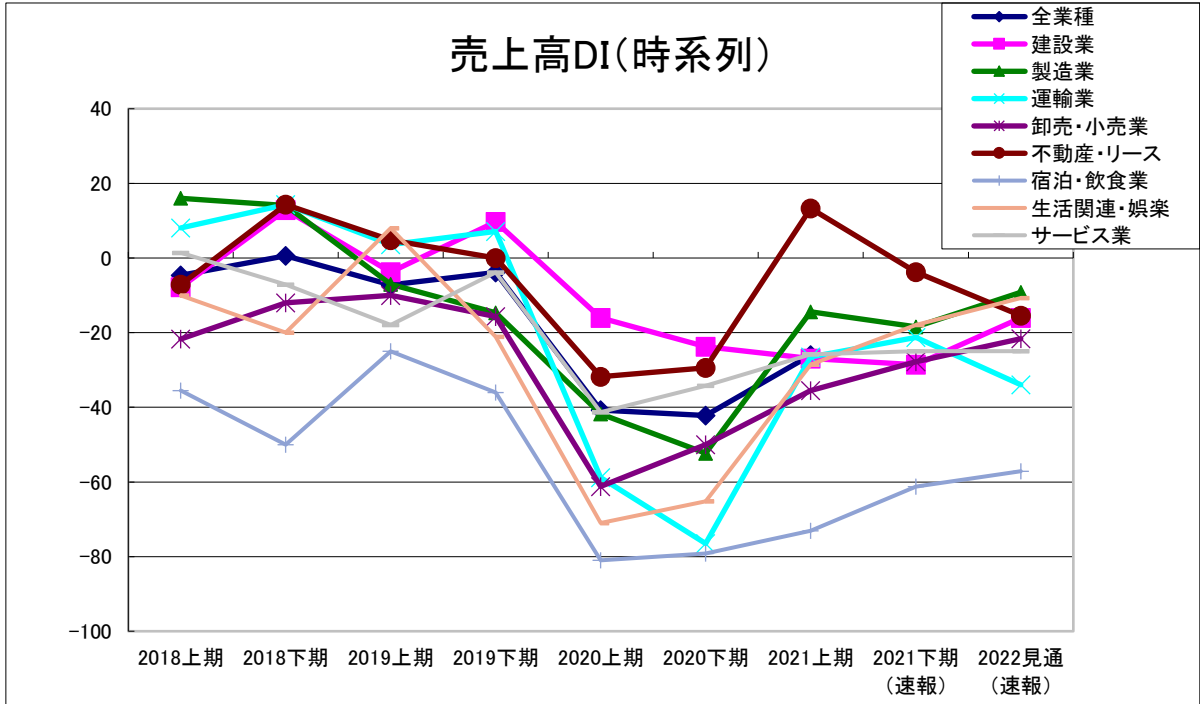
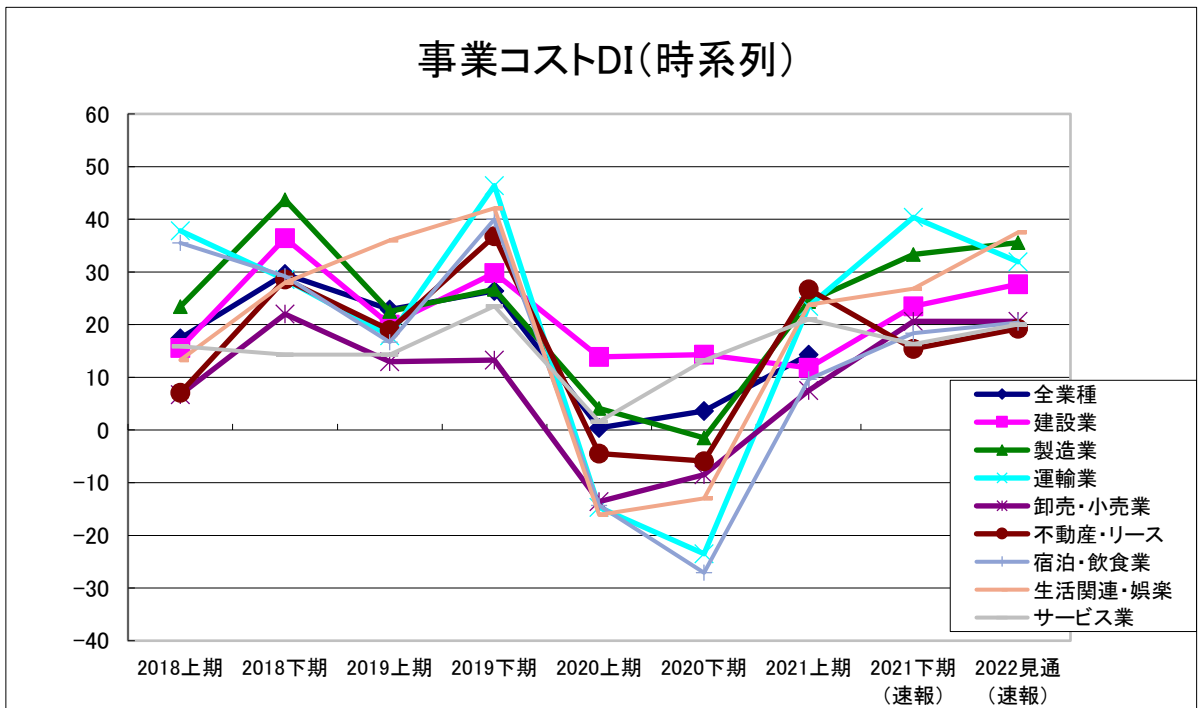


市原市地域経済動向調査・付帯調査の結果速報
令和3年下期（7月～12月および6か月後の見通し）

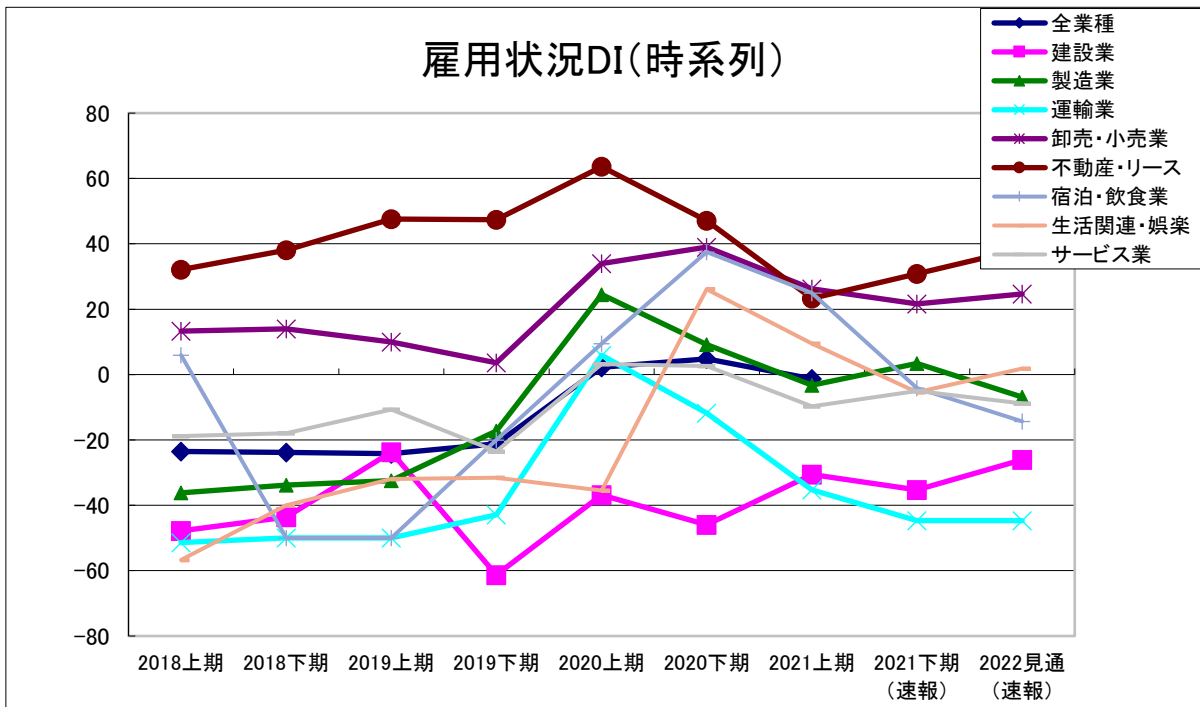
・売上高は前期から横ばいで、DI値は全業種ともマイナスで依然厳しい状況が続いている。他調査の全国指標がV字回復であるのに対し、市原はU字回復で急激な落ち込みが無い分、回復も鈍い特徴がある。建設業については緩やかに落ち込んできてはいるが、6か月先見通しとしては上向いている。



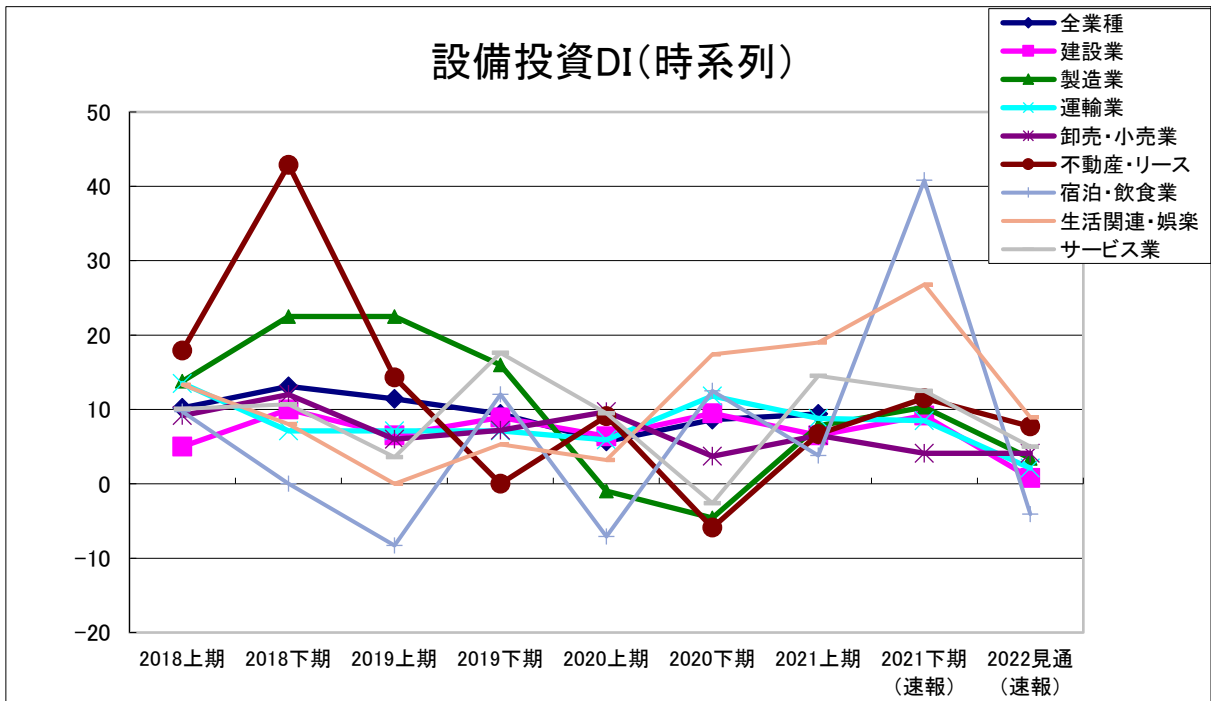
・事業コストにおいては、原油高騰、材料、仕入高の上昇の影響が、DI値に表れている。運輸業、製造業では、採算面での厳しい状況が予想される。



・雇用は、卸売・小売業では余剰、建設業では不足と2極化している。製造業、宿泊・飲食業、サービス業は不足に転じる見通し。

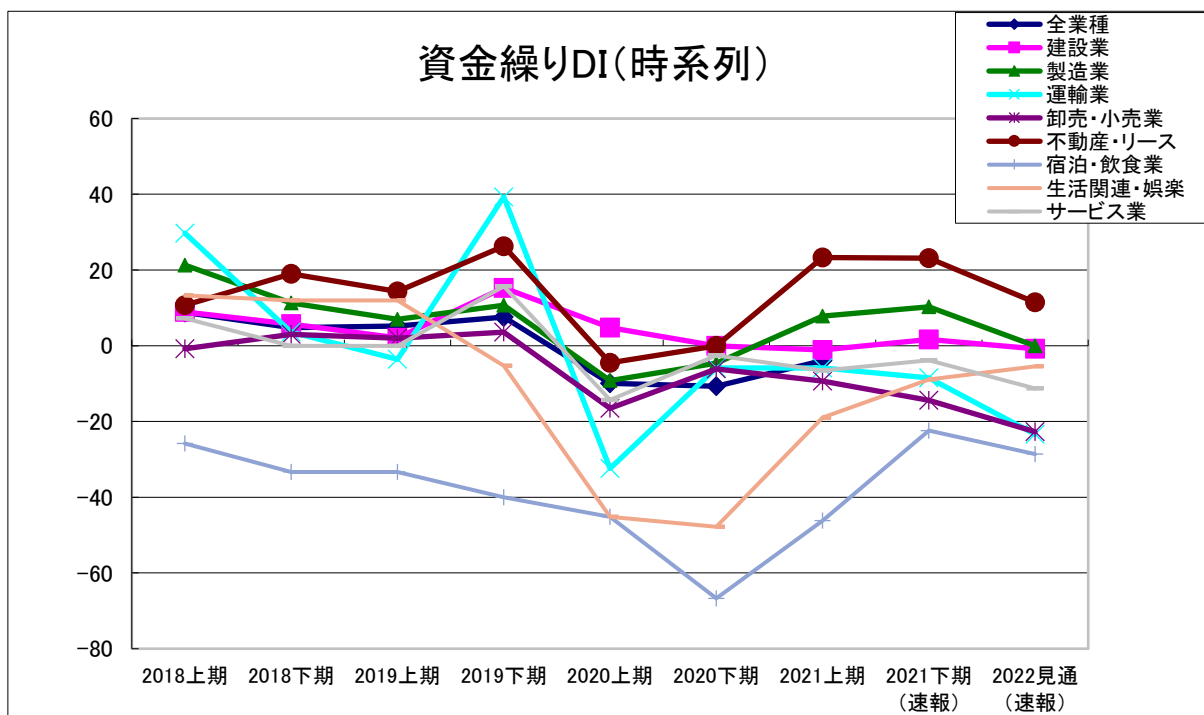


・飲食業や生活関連サービスは新たな生活様式に対応するため、支援金、補助金等の行政施策を活用して、感染対策や事業転換のための設備投資を行っていると思われる。設備投資の見通しは、コロナ変異株の行方が未知数であるために、全業種で様子見の状態にある。



・資金繰りは、前期比・先行き見通しともに不変との回答が多いが、コロナや物価上昇の不安感からかDI値としては緩やかな悪化傾向を示している。市原商工会議所は、資金繰りに不安を感じる事業者に対し早期の経営改善を促すため、金融機関や日本政策金融公庫

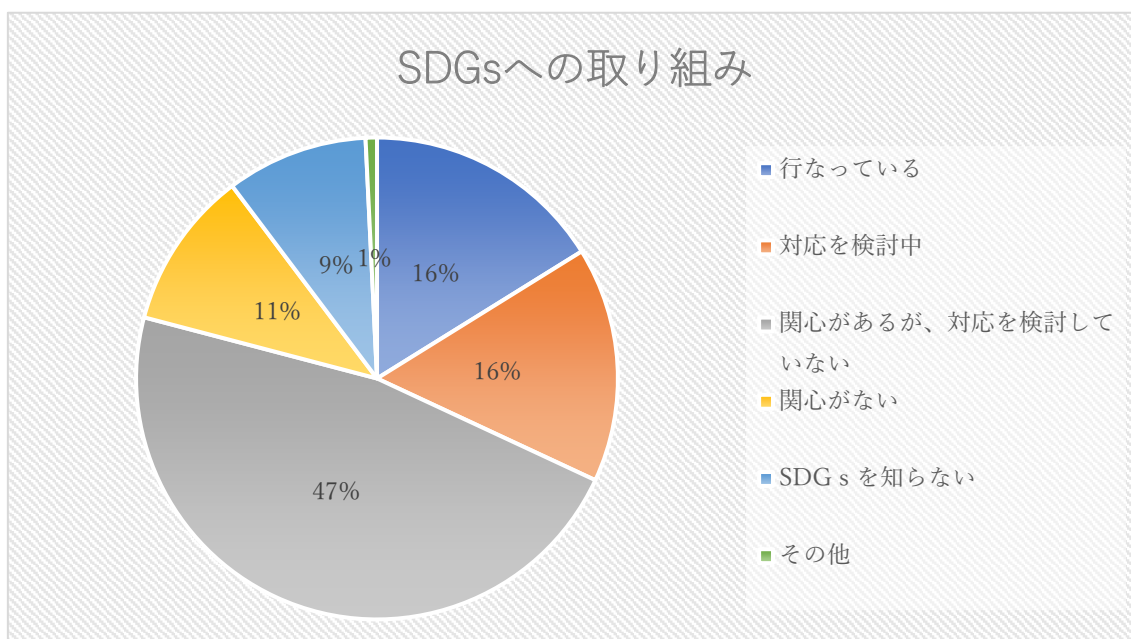
との連携をより強化した金融相談体制で臨む。



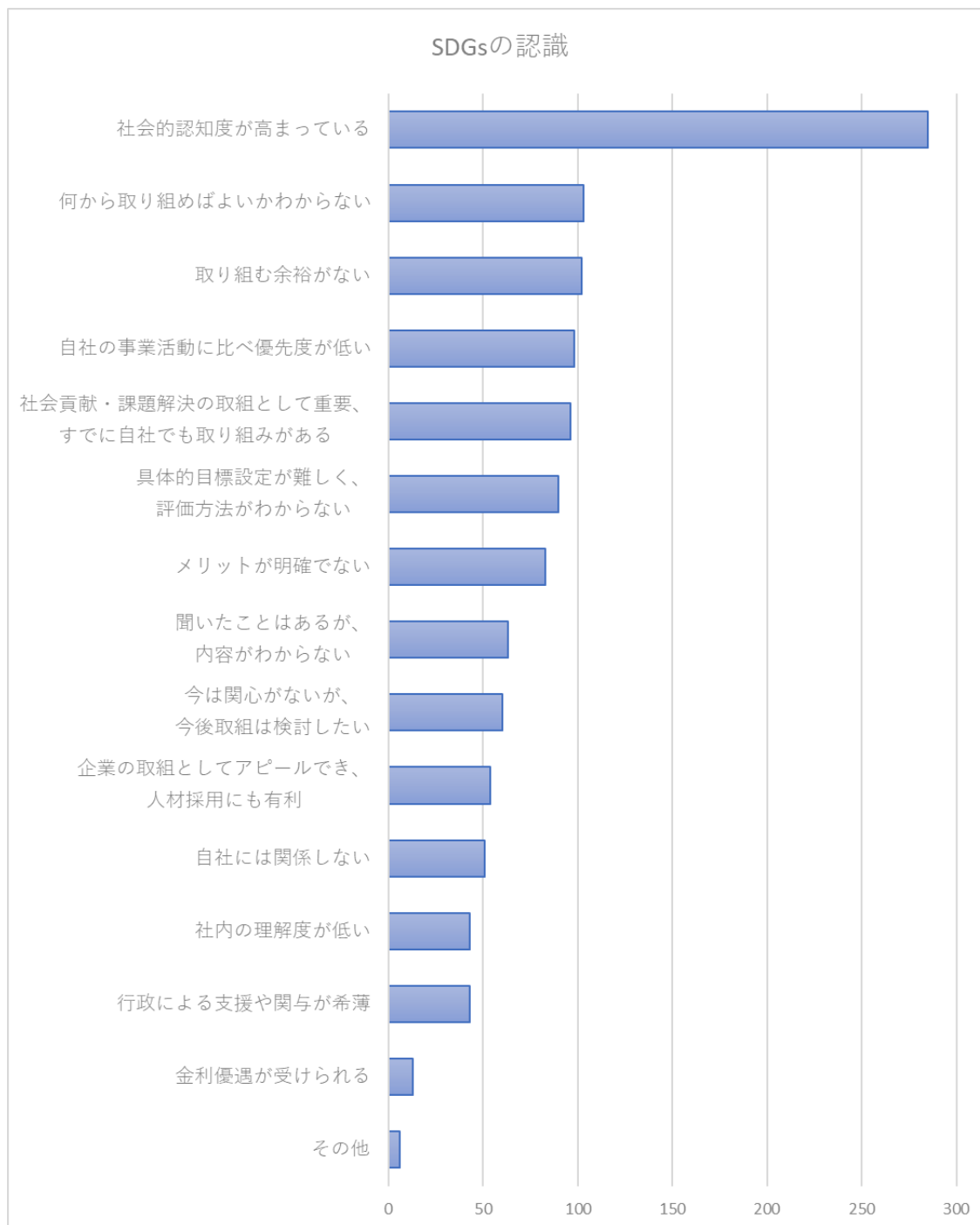
(付帯調査速報・テーマ：SDGs への取組状況) 有効回答数：531 社

SDGs (持続可能な開発目標) は、2015 年の国連サミットで採択された世界共通の行動目標です。持続可能な世界の実現に向け、2030 年までに環境・経済・社会の諸課題を総合的に解決するため、17 の目標と 169 のターゲットが示されています。

問 1-1 SDGs 達成に向けた企業の取り組みが広がっていますが、貴社では SDGs の取り組みや活動を行っていますか。



問1-2 SDGsの認識について、該当する項目（複数回答可）



(注) これらのデータは速報用に集計したものです。分析を行った最終報告については4月上旬を予定しています。